

全 社 協

Action Report

熊本地震第 2 報

2016（平成 28）年 4 月 20 日

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
Japan National Council of Social Welfare
(全社協 ぜんしゃきょう)

政策企画部 広報室 z-koho@shakyo.or.jp
TEL03-3581-4657 FAX03-3580-5721
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2
新霞が関ビル

※熊本県熊本地方を震源とする地震についての情報をお送りします。

「平成 28 年熊本地震」の被害状況等

4 月 16 日（土）1 時 25 分頃、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード 7.3 の地震が発生し、現在も熊本地方を中心に地震活動が続いています。

全社協では、「平成 28 年熊本地震福祉対策本部」を 18 日に設置し、全社協構成組織及び関係機関と連携して、被害状況やニーズを把握し、情報提供を行ってまいります。

■ 社会福祉法人・福祉施設関係

▶ 全国社会就労センター協議会

4 月 18 日に「全国セルフ災害対策本部」設置（本部長：阿由葉 寛 全国セルフ協会会長）

(1) 被災状況とその情報収集

- 被災地の障害者支援施設・事業所の被災状況や支援ニーズに係る情報の収集を進めている。
- 多くの就労支援施設・事業所が被災、建物の亀裂や外壁の破損、断水や停電、食料不足、生産活動に使用していた機器の破損、食品製造の原材料が入手できない等で、事業運営ができない状況もあり。

(2) 支援物資の動き

- 支援物資の調達・運搬は九州ブロックセルフ協が実施する。
 - 物資集積の拠点は、福岡県大牟田市の大牟田恵愛園に置く。
 - ※ 全国のセルフ協関係者への物資支援の依頼(募集)は当面は行わない。
- (3) 義援金の実施
- 全国セルフ協等として義援金募集を4月19日より開始。募集は5月末日まで実施。
 - 熊本県セルフ協、九州ブロックセルフ協に対して、各100万円を先行して支給。

▶全国身体障害者施設協議会

(1) 被災状況

- 熊本県内の会員施設において重大な人的被害はないが、建物や駐車場に亀裂が入るなどの物的被害(4月18日時点)。

被害の大きい障害者支援施設「くまむた荘」(熊本市南区)では、建物・ガラスが破損、水や電気は止まり、利用者全員が施設のホールにて生活。同一敷地内の生活介護事業所では、地割れが起きている。

(2) 支援対応状況

- 4月16日及び4月18日に、日野会長等が支援物資の配送等を行いつつ、熊本県内の一部の会員施設を巡回し、支援物資のニーズ把握を行った。
- ニーズ把握した支援物資については、4月18日付メールマガジン「身障協EXPRESS」により、全会員に被害状況の報告及び協力依頼を行ったが、支援物資の供給量や保管場所等を鑑み、まずは中国・四国ブロックおよび近畿ブロックの会員のみからの支援物資の受け入れを行うこととした。
- 「愛隣館」(熊本県山鹿市)では、福祉避難所の設置・運営にむけて準備を進めているとともに、上記の方針による全国身障協関係組織からの支援物資の集積と、必要に応じての配分を行なっている。

職員派遣等の人的な支援については、現在、九州ブロックを中心に検討を進めている状況である。

▶全国保育協議会(18日(月)15時現在)

地震による被害状況について、現在、熊本県保育協会・熊本市保育園連盟等を通じて把握した会員の被災状況は下記のとおり。

人的被害の報告はなく、園施設・設備の破損、園庭の隆起などが発生している。

停電、断水、ガス供給停止等が回復してなく情報把握が難しい地域もある。

●熊本県内の会員数

・熊本県内の全国保育協議会会員は、563 園(うち市内 125、県下 438)

・熊本県内の全国保育士会会員は、6,166 人(うち市内 2,047、県下 4,119)

○人的被害 報告なし

○物的被害

●熊本県

・益城町

公立の 4 園に、園庭のひび割れや給食設備の損壊あり。私立の 4 園では断水中。

・御船町

公立 1 園の園舎中央に 10 センチの段差、園庭に亀裂。保育中止。公立 2 園の給食設備破損。

・熊本市

私立 5 園に、建物壁のひび割れ、照明器具破損、窓ガラス割れなどが発生。また、水道の水圧が低く、濁りが発生しており、私立 2 園では、給食未実施。市内の一部園では、4 月 18 日から 20 日までの保育中止を決定。

・宇土市

私立 1 園の壁にひび割れ発生。

・玉名市

市内複数園の園舎の壁にひび割れあり。

●福岡県

・みやま市

壁のひび割れが 1 園。保育は継続中。

・柳川市

5 園の壁にひび割れ、窓ガラス破損などが発生。

●大分県

・大分市

壁のクロスに亀裂 1 園。

・別府市

5 園の壁にひび割れやエレベータの故障が発生。

・日田市

1 園は 18 日朝時点で断水。もう 1 園では、水が濁っているため、給食を外注食に切り替え。

・由布市

6 園の壁にひび割れや濁り水が発生。

▶全国児童養護施設協議会（18日（月）18時30分現在）

●熊本県内

12 施設(熊本市内 4、県下 8)、大分県内 9 施設

○人的被害

子どもたち、職員:ケガ人なし。

○物的被害

建物・敷地:施設機能が失われるほどの損壊はない。

○ライフライン

広安愛児園(益城町):地域小規模児童養護施設は震源に近く、水道/ガス/電気は全停止。本園は正常。地域小規模の子どもたちは職員とともに本園に避難し、生活中。その他、熊本市内施設の複数に断水あり。

○被災者の受け入れ

広安愛児園(益城町)は、地域の避難所(500 人程度との情報あり)のため、救援物資が届いている。

○支援要請:物資などの不足に対する支援を確認中。

▶全国乳児福祉施設協議会（18日（月）18時30分現在）

●熊本県内

3 施設(熊本市内 2、県下 1)、大分県内 1 施設

○人的被害

子どもたち、職員:ケガ人なし。地域小規模児童養護施設に避難中の施設あり(慈愛園乳児ホーム-熊本市)。

○物的被害

建物・敷地:施設機能が失われるほどの損壊はない。

○ライフライン

熊本市内 2 施設:断水/ガス停止(または濁水)。入浴不可(熊本乳児院-熊本市)。

▶全国母子生活支援施設協議会（18日（月）18時30分現在）

●熊本県内 2 施設(熊本市内 2)、大分県内 1 施設

○人的被害

入居家庭、職員:ケガ人なし。敷地内の自家用車で寝起きする職員あり。

○物的被害

建物・敷地：施設機能が失われるほどの損壊はない。

○ライフライン

熊本市内 2 施設は、断水。電気は正常。大分県内施設は正常。

○被災者の受け入れ

はばたきホーム(熊本市)

「地域交流ホール」で地域住民の避難を受け入れ。指定避難所ではないので、救援物資は届いていない。

○支援要請

全母協有志が、搬送を開始(水、レトルト食品)。

▶全国厚生事業団体連絡協議会

全国厚生事業団体連絡会 4 団体(全国救護施設協議会、全国更宿施設連絡協議会、全国身体障害者福祉施設協議会、全国婦人保護施設等連絡協議会)では、現在会員施設の被災状況の確認に努めている。

全国救護施設協議会(会長 大西 豊美)では、次の状況確認と対応をすすめている。

(1) 被災状況

○ 真和館(阿蘇郡西原村)

- ・一時近隣の山西小学校に利用者全員避難した。18 日午後、施設に全員帰還。施設職員、利用者等の人的被害なし。
- ・ライフラインに一部被害あり(電話不通、一部で電気系統故障、井戸水使用不可)
- ・建物に一部亀裂、外壁タイルにも一部亀裂等の物的被害。
- ・水はペットボトル、近隣の山の湧水等で対応。

○ 友愛会銀杏寮(熊本市西区)

- ・断水による水不足。
- ・施設職員、利用者等の人的被害なし。
- ・建物に亀裂、施設内の備品が倒れるなどの物的被害。

○ 熊本県内、大分県その他施設について

- ・物品の散乱等はあるものの重大な被害の報告はなし。

(2) 支援対応状況

- 九州地区救護施設協議会の「かんざき日の隅寮」(佐賀県)が救援物資を被

災施設に配送するため、救援物資の協力を九州内の救護施設に求め、集積中。

全国救護施設協議会として大西会長が4月19～20日に現地入りをし、被災状況を確認し、今後の必要な支援につなぐこととしている。

▶全国地域包括・在宅介護支援センター協議会（18日（月）19時現在）

○九州ブロック内の会員センターについて被害状況を確認した。

・熊本県熊本市・上益城は、電気・水道・ガスが停止し、食料の調達困難。事務所内は物が散乱し、事務作業を行えず。

■社協・ボランティア関係

○熊本県内でのボランティア活動について

・16日（土）未明の本震により県内での被害状況が拡大したことから、余震に注意を払いつつ、ボランティア活動が円滑に行われるよう、ボランティアセンターの少しでも早い開設に向けて準備を進めている。

・熊本県社協は、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）等支援者とともに職員が現地を巡って、被災状況の把握と支援体制準備等の支援にあたった。

・益城町では災害ボランティアセンターの開設に向けての準備が進めている。

・西原村、菊陽町では、被災された方からボランティア活動のニーズ調査を行っている。現在も家屋の応急危険度判定等が実施中。

・熊本県内の社協は、災害ボランティアセンター開設にむけた応援を開始。

・熊本市社協は市内の被害状況の把握と支援体制の準備を、支援P等支援者と進めている。

・今後の情報については、下記HPを参考されたい。

◆熊本県社会福祉協議会

<http://www.fukushi-kumamoto.or.jp/>

◆熊本市社会福祉協議会

<http://www.kumamoto-city-csw.or.jp/>

◆熊本市社会福祉協議会 Facebook

<http://ur0.work/tiXe>

○大分県内でのボランティア活動について

・大分県社協は、県内の市町社協支援、情報把握のため「大分県災害救援本部」(大分県災害ボランティアセンター)16日(土)に立ち上げた。県社協職員を派遣するなどの対応を行っている。

・今後の情報については、下記HPを参考されたい。

◆大分県社会福祉協議会

<http://www.oitakensyakyō.jp/>

◆大分県ボランティア・市民活動センター「ぼらのた NET」

<http://www.oitavoc.jp/>

(4月18日22時45分現在「平成28年度 被災地支援・災害ボランティア情報(6号)」より抜粋)

○今後の最新情報について

・「被災地支援・災害ボランティア情報」(全社協地域福祉部 全国ボランティア・市民活動振興センターホームページ)を参照されたい。

<http://www.saigaivc.com/>

■ 支援活動レポート

4月19日 全乳協平田会長が熊本市内へ物資搬送

- AM5時に福岡県大刀洗町を出発。AM6:25に「熊本乳児院」到着。
- 熊本乳児院(熊本市)
 - 地震直後より夜勤増員。緊急配置5名体制を整えたが、余震の不安、子どもの緊急避難、職員が自主的に9人で対応。
 - 断水中。「水」の確保は、職員がSNSで呼びかけ一般の方、道路隔てた大学病院と全乳協からの搬送分等で対応。食事は非常食を交えた献立。紙おむつの残りが一週間分ほど。

- 近隣の住人や関わっている里親さんへも物資を支援。

○ 慈愛園乳児ホーム(熊本市)

- 早朝、職員総出で物資の運び入れ。
- 近隣の砂取小学校が避難所。避難所では、お湯がわかせずカップ麺など温かいものが食べられなく、園でお湯を沸かし支援をしている。



早朝の砂取小学校
車内で避難生活をしている方がたも多い

○ 広安愛児園(益城町)

- 避難所指定の児童養護施設。こども L.E.C.センター(情短)も併設されている。地域住民も含め 300 名がいる。(一番多い時は 600 名)。
- 一番必要なことは…と問うと、「簡易トイレがほしい」「トイレが詰まった」
- 子どもたちも協力的で配給にもきちんと並んで食事を受け取っている。
- 職員が全員泊まり込みで対応。
- 子どもたちの水や飲み物が不足。職員の支援も必要。